

事業名		代表者所属	広島大学大学院工学研究院
16 KJ-007		代表者	教授 大下 浄治
おもしろワクワク化学の世界 '16 広島化学展		開催地	広島市
		助成金額	15 万円
活動概要	<p>日時 2016 年 7 月 16 日(土)～2016 年 7 月 18 日(月、祝)</p> <p>場所 広島市こども文化科学館</p> <p>対象 小中学生およびその保護者、高校生、一般 (参加無料)</p> <p>参加者(人) 約 1,800 名</p> <p>内訳 (未就学児 約 250 名, 小学生 約 900 名, 中学生以上の一般 約 650 名)</p> <p>内容 展示、演示実験、実験体験 20 テーマ程度</p> <p>: 広島大学(18 件)、企業(2 件)、周辺高等学校(1 件)</p>		

事業の目的・ねらい

次世代を担う青少年に化学の素晴らしさ、不思議さ、面白さ、に触れる機会を提供する。化学的な演示だけでなく体験実験も行い、化学のおもしろさを実感して頂くとともに、最新の化学技術の解説展示を通して、学校で学ぶ化学と身の回りで実際に役立っている化学製品との繋がりをやさしく紹介する。近年、子供達の理科離れが話題となって久しいが、科学技術の重要性や、化学と自然環境とのかわりについて関心を持ってもらう機会としたい。なお、本事業は、日本化学会中国四国支部の主催で毎年各県回り持ちで行われている。

事業の概要

事業名: おもしろワクワク化学の世界'16 広島化学展

日時: 平成 28 年 7 月 16 日(土) 10:30～16:30

17 日(日) 10:00～16:30

18 日(月・祝)10:00～16:00

会場: 広島市こども文化科学館 (広島市中区基町 5 番 83号)

内容: 下記の展示・演示実験・実験体験 21テーマ: 広島大学(18件)、地域企業(2件)、周辺高等学校(1件)

- ・科学捜査入門 一指紋の検出-(広島大院工・分析化学)
- ・コレステロールを使って、温度計を作ろう。(広島大院理・生物化学)
- ・その色、ホントはなに色!? ～ペーパークロマトグラフィー～(広島大院工・応用有機化学)
- ・微粒子の不思議 ～乾くと色が変わる灰色絵具と磁石で動く液体～(広島大院工・無機材料化学)
- ・空気の重さをみてみよう!(広島大院工・化学工学)
- ・振ると色が変わる? 不思議な液体(広島大院理・分析化学)
- ・見る! 測る! 放射線(広島大院理・放射線反応化学)
- ・計算機を使って分子をつくる・みる・うごかす(広島大院理・量子化学)
- ・ミクロの世界をみてみよう!!(広島大院理・光機能化学)
- ・博士は未知の宝箱を見つけひらく Treasure Hunter(広島大学グローバルキャリアデザインセンター)
- ・キャタリシススクエア ～ゼオライト模型を組み立てよう～(広島大院工・環境触媒化学)
- ・スライムをつくろう(広島大院工・機能高分子化学)
- ・試験紙は何を測っている?(広島大院理・自己組織化学)
- ・波で遊ぼう(広島大院理・構造物理化学)
- ・指はふやせる!? (広島県立安芸高校・広島国泰寺高校)(初日のみ開催)
- ・ガラスについて学び、トンボ玉・マドラーを作ろう(広島大学・ガラス工作室)
- ・電気を通すプラスチックをつくろう(広島大院工・材料物性化学)

- ・鈴木-宮浦クロスカップリングの体験～蛍光性分子の合成とソルバトクロミズム～(広島大院工・反応設計化学)
- ・水圧の力と深海生物の不思議(広島大院理・分子生物物理学)
- ・化学で変身(三菱レイヨン株式会社)
- ・『カルメラ焼き』を作ってみよう(株式会社トクヤマ)

大会委員長：佐野庸治(日本化学会中国四回支部長，広島大院工)

実行委員長：大下浄治(日本化学会中国四国支部幹事，広島大院工)

実行委員：相田美砂子(広島大院理)，石佐古早実(広島大技術セ)，石坂昌司(広島大院理)，泉俊輔(広島大院理)，上田将史(広島大院工)，江幡孝之(広島大院理)，大前英司(広島大院理)，大山陽介(広島大院工)，片桐清文(広島大院工)，金指正言(広島大院工)，駒口健治(広島大院工)，後藤健彦(広島大院工)，齊藤健一(広島大院理)，定金正洋(広島大院工)，新谷博志(広島大技術セ)，田中亮(広島大院工)，津野地直(広島大院工)，中谷都志美(広島大技術セ)，早川慎二郎(広島大院工)，藤原好恒(広島大院理)，宮下直(広島大院理)，吉田拓人(広島大院工)

主催：日本化学会中国四国支部

共催：(公財)徳山科学技術振興財団，広島市こども文化科学館，広島大学，触媒学会西日本支部

後援：広島県教育委員会，広島市教育委員会，東広島市教育委員会，広島県高等学校教育研究会理科部会，中国新聞社，NHK 広島放送局，中国放送，テレビ新広島，広島テレビ，広島ホームテレビ

協賛：(公財)マツダ財団

広島化学展 URL: <http://wakuwaku2016.hiroshima-u.ac.jp/>

成果・効果

会期 3 日間で約 1,800 名(未就学児 約 250 名，小学生 約 900 名，中学生以上の一般 約 650 名)の参加者があった。一日に 400 名が参加した体験実験もあり、今回の化学展も大盛況であった。全ての展示・演示実験・体験実験では、安全を第一に配慮し、未就学児のお子さんも保護者と一緒に参加でき、じゅうぶんに化学の世界を楽しめる内容であった。特に、「スライム作り」、「空気の重さをみてみよう」、「キャラメル焼き」および「ガラスを溶かしてとんぼ玉作り」では、子供たちが大はしゃぎであった。本広島化学展では、親子、祖父母と孫、友人と共に化学の不思議を体験して楽しみ、いろんな疑問や考えが沸いてきたようであり、本事業のねらいである化学技術の重要性や化学と自然環境とのかかわりについて関心を持ってもらう絶好の機会となった。実験補助の大学生さんは、何で、どうしての質問攻めだったが、丁寧に説明し、やり取りする姿は微笑ましく感じた。嬉しいことに、会期の 3 日間とも参加した親子が何件もあった。また、共催・後援いただいた各財団、企業、高校および NHK の取材も含め、本化学展の宣伝効果は絶大であり、来場者は途絶えることがなかった。広島での本化学展は、次回の山口での開催も大盛況になることを確信できる大成功の事業であった。



会場の様子 1



会場の様子 2



カルメラ焼き作りを楽しむ親子



空気の重さをみてみよう